

社会科学習指導案

神辺町立御野小学校 指導者 石丸 哲也

1. 学 年 第6学年1組 26名

2. 単元名 明治維新から世界の中の日本へ「新政府による政治」

3. 単元設定の理由

○ 本小単元「新政府による政治」は、倒幕をなし終えた維新の志士たちが明治の新政府を立ち上げ、近代国家の成立に向けて様々な改革に取り組む様子とそれに伴う世の中の変化を扱った単元である。その新政府がまず手を付けたのが天皇を中心とする中央集権国家を築くことであった。版籍奉還や廃藩置県・四民平等等の政策を実施することで旧体制を完全に崩壊させ、中央政府による支配体制を整えていったのである。

また、今後の日本の行く末を見定めるために岩倉遣欧使節団を欧米視察に赴いた大久保利通、木戸孝允らは、そこで発展し強大化した資本主義国家姿をまざまざと見せ付けられることになる。そして、日本を近代的な資本主義国家に築き上げる必要性を痛感して帰国した大久保らは、国力の要である「軍事力」と「経済力」の充実に向けて「富国強兵」「殖産興業」をスローガンに掲げ、軍事と経済を重視した国づくりへと突き進んでいくのである。

しかし、こうした明治政府の一方的な改革に対して、国民からの反発も徐々に激しさを増していくことになる。当初、西郷隆盛の西南戦争に代表されるように武力によって政府の施策に抵抗しようとした動きは、やがて言論によって政治改革を求めているとする自由民権運動へとその形を変えていった。政府は規制と弾圧という形でこうした民衆の動きを押さえ込もうとしたが、一度動き始めた民主化への波をとめることはできず、ついには憲法の制定、国会開設へとつながっていくのである。本単元は、明治政府が、国家の近代化に向けて様々な改革を推進していく中で、人々の暮らしや考え方がどのように変化していったのか、また日本にとって「明治維新」とは何だったのかを考えるのに適した単元であると考ええる。

○ 本学級の児童は、昨年度末の学力テスト（C R T）の結果によると、必ずしも社会的事象への関心・意欲・態度は高いものではなかった。また、思考判断、技能表現、知識理解も全国平均よりも低い結果が出ており、社会科に対する児童の反応は、高まっているとはいいがたい状態であった。しかし、歴史学習という新しい分野には強い興味と期待を持って6年生を迎えており、これまで意欲的に学習に取り組んできている。6年生になってからの歴史学習のはじめには、日本の歴史を見通し一人一人が疑問を出して、学級全体で疑問年表を作成した。その過程で、およその時代の流れをつかみ、自分たちで「はてな？」を見つけることによって学習の見通しをもって取り組むことができていると思われる。また、「調べて表現する活動」については、教科書、資料集、参考書、インターネットなどを活用して情報収集したり、調べたことをノートなどにまとめたりする活動に対して、意欲的に取り組む児童が多い。

しかし、問題解決的な学習の取り組みはまだ浅く、事象の中から疑問をつかんで学習課題を設定していくという学習スタイルが十分定着しているとはいいがたい。したがって、課題設定においてもまだまだ教師主導の部分があり、受身的な学習になっている児童が多い。学習が進む中で、歴史事象と人物名、年代がうまく結びつかず「歴史は難しい。」と訴え始めていた児童もいたが、人物の働きやエピソード、今につながる文化などを学習したり、歴史事象を現代社会につながる事象としてとらえさせたりすることで、「歴史っておもしろい。」という感想も少しずつ聞かれ始めた。

また、授業の終末部分では、記述式による「学習のまとめ」を行ってきており、大部分の児童が本時の学習で何がわかったのかを文章化してまとめることができるようにはなっている。しかし、調べたことをそのまま発言することはできるが、それらを結び付けて考える「思考力」の部分になると自分の考えが持てなかったり、持ててもみんなの前で発言できなかったりする児童が多く、大切な部分での思考が深まらないことが課題である。

○ 本単元の指導に当たっては、明治維新や文明開化等の歴史的事象を網羅的に取り上げるのではなく、わが国の近代化や国際的な地位の向上にとって中心的な役割を果たした**歴史上の人物に着目させ**、その人物の働きを学習することを通して明治時代の特色を具体的に把握させるようにしていきたい。その際、吹き出しに考えを書かせたり**記述式のまとめ**を行ったりすることで思考を促したり、自分の考えや判断を整理する力を育成していきたいと考える。また、歴史の動きを身近な社会事象としてとらえさせるために地域にある歴史資料を有効に活用していきたいと思う。さらに、資料から読み取ったことを年表にまとめるなど、時代の動きや流れをつかむために年表を効果的に活用していきたい。

4. 単元の目標

○明治の新しい世の中の様子や人物の働きに関心を持ち、わが国の近代化や国際的地位の向上の過程について進んでとらえようとすることができる。【関心・意欲・態度】

○わが国が近代国家としての形態を整えていった様子や問題点について、人物の働きや国内の様子をもとに考え、判断することができる。【思考・判断】

○明治維新や文明開化、大日本帝国憲法の発布などについて人物の働きを中心に調べたり、表現したりすることができる。【技能・表現】

○明治政府が「富国強兵」「殖産興業」をスローガンに、欧米の技術や文化・制度を導入することで日本の近代化を急ごうとしていたことをとらえることができる。【知識・理解】

5. 単元の評価規準

ア社会的事象への 関心・意欲・態度	イ社会的な思考・判断	ウ観察・資料活用の 技能・表現	エ社会的事象についての 知識・理解
○調べたり気付いたりしたことの中から自分なりの学習課題を見つけることができる。	○明治政府による諸改革の中で世の中がどう変化し、人々がどう感じて生きていたのかについて資料や話し合い	○資料から疑問や気付きを見つけることができる。 ○教科書、資料集等から文明開化や明治維新の様子につい	○憲法制定、国会開設に至った経緯を調べ、そこに民衆の意識の高まりがあったことが理解できる。

○学習課題に対して意欲的に、粘り強く調べたりまとめることができる	をもとに考えることができる。 ○新政府が行った諸改革についてその意図を考えることができる。 ○天皇を中心にした中央集権国家において、自由民権運動が目指したものについて考える。	て読み取り、ノートや模造紙等にわかりやすくまとめることができる。	○維新の志士たちがそれぞれどのような思いをもってこの国の近代化に努力したかが理解できる。
----------------------------------	---	----------------------------------	--

7. 単元指導計画（全8時間）

次数	時数	学習活動	評価規準				評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
1次	1	・大久保利通の人物年表を作成し、それをもとに単元の学習課題を考える。			◎		・資料から疑問や気付きを見つけることができる。	発言 ノート
			○				・調べたり気付いたりしたことの中から自分なりの学習課題を見つけることができる。	発言 ノート
2次	2	・新しい時代になって武士はどうなったのか調べて話し合う。				◎	・大政奉還後、旧藩主や武士たちは廃藩置県・四民平等によって、禄や特権を奪われたことが分かる。	ノート
	3	・岩倉遣欧使節団について調べ、大久保たちが何のために欧米の視察に出かけたのか、使節団が海外で見たこと、感じたことを元に考える。		◎			・資料をもとに欧米視察によって使節団一行が感じたことについて考えることができる。	発言 ノート
	4	・帰国した大久保たちが、実際にどのような国づくりを行ったのか調べて話し合う。		◎			・新政府が行った諸改革についてその意図について考えることができる。	発言 ノート ふきだし
			○				・学習課題に対して意欲的に、粘り強く考えたりまとめたりすることができる	行動観察
	5	・明治になってから人々の生活がどのように変わったのかを調べて話し合う。 (本時)		◎			・明治政府による諸改革の中で世の中がどう変化し、人々がどう感じて生きていたのかについて資料や話し合いをもとに考えることができる。	発言 ノート
						○	・教科書や資料集から文明開化について読み取ることができる。	発言 ノート
	6	・ともに改革をすすめてきたはずの大久保と西郷が西南戦争で戦わなければならなかった理由について調べて話し合う。		◎			・盟友であった大久保と西郷が戦った理由について資料をもとに考えることができる。	発言 ノート
	7	・自由民権運動と国会開設について調べ、人々が何を求めたのかについて話し合う。		◎			・天皇を中心にした中央集権国家において、自由民権運動が目指したものについて考えることができる。	発言 ノート
						○	・憲法制定、国会開設に至った経緯を調べ、そこに民衆の意識の高まりがあったことが理解できる。	発言 ノート
3次	8	・これまでの学習を振り返り、登場人物たちの相關図を作って、各人物の働きをまとめる。				◎	・維新の志士たちがどのような思いをもってこの国の近代化に努力したか理解できる。	発言 学習カード

8. 本時の学習

- (1) 本時の目標
- ・文明開化や学校の制度を調べ、欧米の文化や考え方が広く取り入れられ、人々の暮らしが大きく変化したことを考えることができる。
- (2) 評価規準の観点
- ◎明治政府による諸改革の中で世の中がどう変化し、人々がどう感じて生きていたのかについて、資料や話し合いをもとに考えることができる。【思考・判断】

○教科書や資料集から文明開化について読み取ることができる。【技能・表現】
- (3) 準備物
- 指導者・・・文明開化の様子分かる絵・写真など、肖像画（福沢諭吉）と「学問のすゝめ」の一説、就学率の変化グラフ
両備軽便鉄道の写真、窪田次郎の写真

児童・・・調べた物をまとめたノートまたは制作物、ワークシート（年表）
- (4) 本時の展開

段階	学習活動・発問及び予想される反応	資料	学習への支援（○） 指導上の留意点（・）	評価基準
導入課題	①導入課題を提示する。 明治時代になって人々のくらしはどのように変化したのだろうか？ ・政府が変わり、制度が変わったので、くらしもいろんなことが急に変わったと思う。 ・西洋風のもものがたくさん入ってきたと思う。 ②明治時代になって、西洋から取り入れられた制度や文化（文明開化）について話し合う。 ○人々の暮らしにはどのような変化があったのか調べたことを出し合おう。	○江戸時代の日本橋と明治時代の日本橋の絵 ・2枚の絵からとらえたことを想起させる。	・前時の学習（制度の変化）と本時の学習の関連を確認する。	

中核課題	・服装、髪形の変化・食べ物の変化・建物の変化 ・乗り物の変化・郵便制度、電信、電話、新聞 ・鉄道・学校ができた ・都市を中心にさまざまな変化があった ・福沢諭吉は「学問のすゝめ」で人間の権利や自由を尊重しようとうったえた。 ・「人はみな平等である。」とうったえた。 ・「学問にはげもう。」とよびかけた。 ・進んだ欧米の考え方や文化を広めようとした。 ・多くの人たちが福沢諭吉の考え方に注目した。 ・さまざまな世の中の変化を「文明開化」と呼んだ。 ・短い期間でたくさんのことが変化した。 ・西洋風のものは何でもよいと思って一気に広まった。 ・欧米に負けない国づくりをするために、都市を中心に急に変わっていった。 ○神辺のような地方でも都市と同じように、くらしが急に変わったのだろうか。 ・神辺に鉄道ができたのは、何十年もたってからだ。 ・都市と同じようには、変化していない。 ・都市から離れているので、地方に広がるまでには時間がかかるのだろう。 ○学校はどうだったのだろうか。 ・学校は、福山や神辺のような地方でもすぐにできている。	○文明開化の写真、絵などの資料 ・発表したことが具体的につかみやすいように提示する。 ○明治時代の小学校の授業風景と寺子屋の絵 ・2枚を比較して変化をつかませる。 ○1万円札、福沢諭吉の肖像画と「学問のすゝめ」の一説 ・発行部数を知らせることで、当時の人々の考え方に関心を持たせる。 ○両備軽便鉄道（現JR福塩線）の写真 ・神辺の鉄道は大正時代になってできたことを知らせる。 ○神辺町近辺の主要校の小学校設立年表 ・学制発布直後であることをとらえさせる。		
	③明治政府が、教育を重視したわけを考える。 なぜ、学校だけは、地方でもすぐにできたのだろうか？ ・新しい考え方や文化を学校で教えれば、よく伝わるから。 ・新しい国づくりをするためには、みんな同じ考え方のほうがいいので、学校にみんな行けば、学校で新しい考えを広められると考えたから急いだ。 ・福沢諭吉が、新しい国づくりには学問が大切だと訴えたように、政府も考えたから。 ・欧米に追いつく国づくりのために、急いで新しい考え方や制度を広げたかったので、全国に学校を一斉に作ろうと思った。 ・もともと寺子屋や藩校があったから作りやすかった。 ・地方からも新しい考え方を持つ人たちが生まれてきていたようだ。 ④学習課題について、今日学習したことをもとにノートへ自分の考えをまとめる。 ・都市を中心として、欧米に対抗できる国づくりをするために、学校の制度や鉄道など欧米の新しい文化や考え方が広く取り入れられ、服装、髪形など人々のくらしは大きく変化した。 ・新しい文化や考え方を広めるには、学校や福沢諭吉の考えが大きな役割を果たしていた。地方もそれに合わせて鉄道が広がるように、乗り物や建物なども変化していった。日本中が新しいものを喜んで取り入れていった。 ・次々と新しいものを作るたくさんのお金はどうしたのだろう。 ・それまでの日本風の考え方はどうなったのだろう。 ・急に大きく変化することに不満を持った人たちはいなかったのだろうか。 ・ほかにも、改革があったのかな。	○窪田次郎の写真 ・神辺近辺にも新しい考えを持っていた人々がいたことに興味を持たせる。	・年表にまとめながら短期間で変化したことに気づかせる。 ・いつごろできたかを予想させてから知らせる。 ・考え方のずれを生み出すように提示する。	
まとめ			・できるだけ多くの時間を保証する。 ・学習して感じた新たな疑問も書かせ、発展的な学習や次時の学習へつなげるようにする。 ○記述の困難な児童については、様々なくらしの変化や学校、福沢諭吉の考えに注目してまとめるよう助言をする。	A：明治政府による諸改革の中で世の中がどう変化し、人々がどう感じて生きていたのかについて学制を中心に4つ以上の事例を複合して構成し説明できる。 B：3つの事例を構成して説明できる。